

ブリージアテラス淵野辺

Breezia Terrace Fuchinobe

No. 20-018-2014更新

新築
集合住宅

発注者	榊長谷エコーポレーション、榊世界貿易センタービルディング、日本国土開発榊東京本店、榊日立ライフ	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO ₂ 技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB
設計・監理	(株)榊長谷エコーポレーション HASEKO Corporation	E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携	
施工	(株)榊長谷エコーポレーション	I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他	

社会の諸問題・人々の価値観の変化に対応した次世代型マンション『Be-Next』

「Be-Next」
本プロジェクトでは「環境問題」「CO₂削減」「電力不足」「防災意識の高まり」等、今の社会を取り巻く諸々の問題への対応と、「個性・こだわり」「多様な価値観」「本質的価値への回帰」「社会、家族の絆」等の時代ニーズに対応した次世代型マンション『Be-Next』を提案しています。「快適」「多様性」「環境」「防災」の4つのキーワードをテーマとしており、梁・柱の無い住空間や広さ、明るさ、通風等の将来変えることの出来ない住宅基本性能を充実させています。また、将来変えられる部分は基本仕様を極力シンプルに抑えカスタマイズ性を持たせるとともに間取り変更等の可変性を付加しています。さらに、省エネ性能の向上や自然エネルギーの直接利用等の環境性能も確保しています。



建物全景



エントランス外観



中庭外観



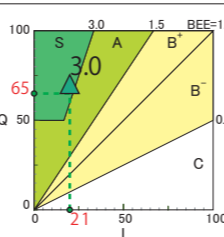
神奈川県建築物環境性能表示

神奈川県建築物環境性能表示

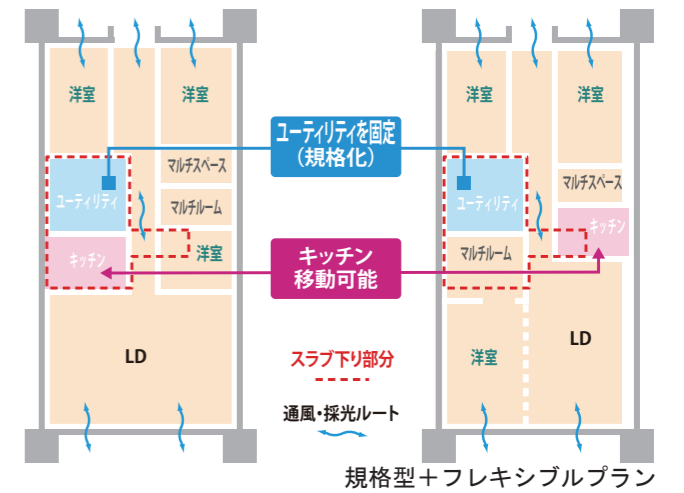


配置図

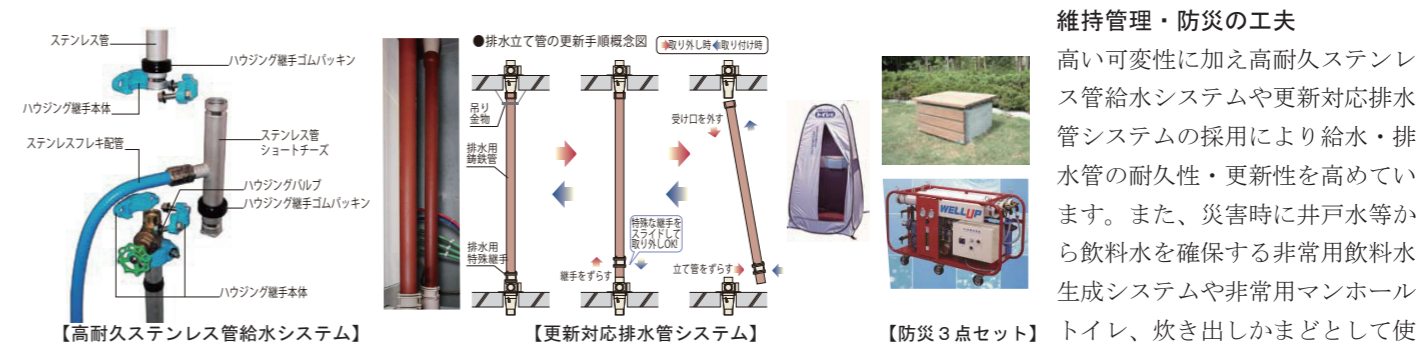
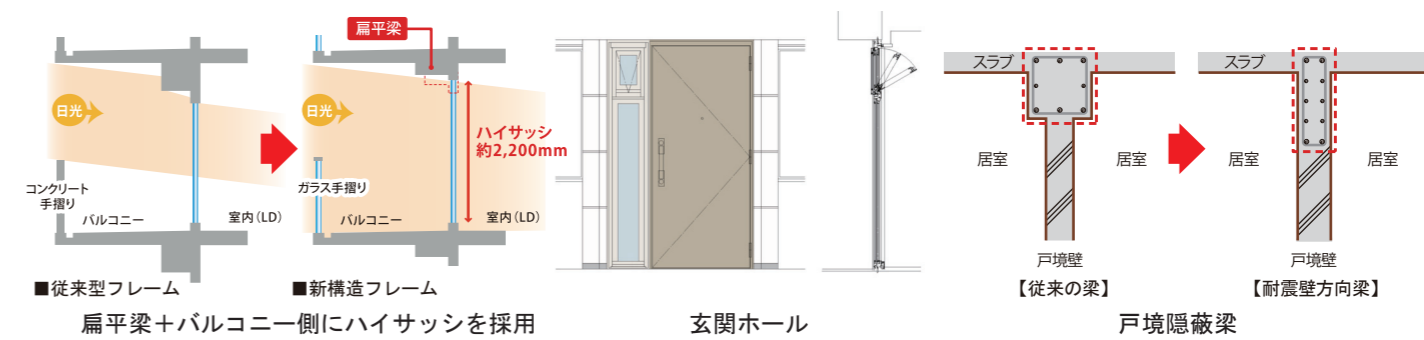
建物データ	所在地 神奈川県相模原市	省エネルギー性能	等級4	CASBEE評価	Sランク
竣工年	2013年	品規格省エネ対策	66%	BEE=3.0	BEE=3.0
敷地面積	8,367m ²	ERR (CASBEE準拠)	29%	2011年度版	自治体提出
延床面積	18,634m ²	LCCO ₂ 削減			
構造	RC造				
階数	地上14階				



住生活の本質を目指す基本性能の工夫
住戸を構成する柱のアウトフレーム化及び住戸境の隠蔽梁採用により梁・柱による凹凸の無いスクエアな空間構成としています。また、バルコニー側は扁平梁の大梁とすることでハイサッシを取り付けることができ、明るく開放的なリビング空間を実現しています。さらに、玄関扉脇に窓を設置することにより通風や採光を積極的に取り入れ、バルコニーのハイサッシとともに自然エネルギーを直接利用したパッシブデザインとしています。このような基本的な生活空間の質の向上に加え、将来の間取りの可変性を考慮し、直床ながらハーフプレキャスト合成床スラブ工法の採用によりスラブ段差を部分的に延長させキッチンの移動を可能にしています。これによりコストパフォーマンスを維持しながら居住者の生活変化に合わせた高い可変性を確保しています。



規格型+フレキシブルプラン



設計担当者
統括：松澤明彦/建築：金巻浩二、多田野高広/構造：川上賢一、中澤誠/設備：荒木伸博、北河順平、柴田智行/インテリア：鎌田利奈/外構：藤縄まり子

- 主要な採用技術 (CASBEE準拠)
- Q2. 2. 耐用性・信頼性 (節水型器具の採用、災害時に井戸ろ過システムによる飲料水の確保、住宅性能表示制度 構造躯体劣化対策等級3の取得)
 - Q2. 3. 対応性・更新性 (高耐久ステンレス給水システム、更新対応排水管システムの採用)
 - LR1. 1. 建物の熱負荷抑制 (住宅性能表示制度 省エネ等級4の取得 (エコニスIIの採用))
 - LR1. 3. 設備システムの高効率化 (潜熱回収型給湯器の採用、共用部照明にLEDの採用)